

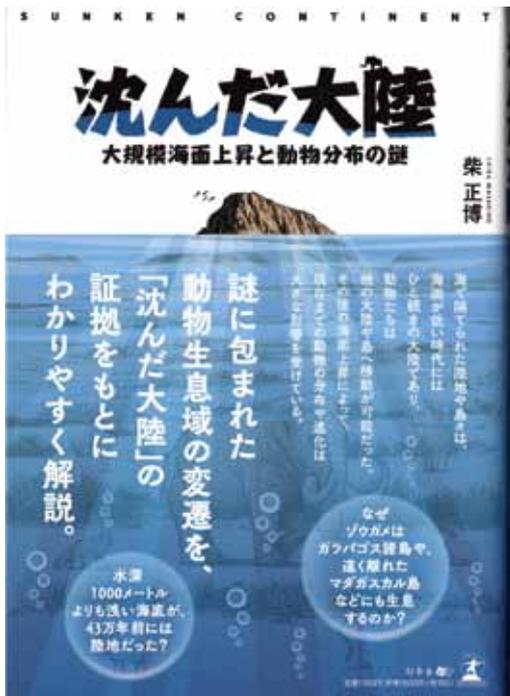
新刊紹介

沈んだ大陸

大規模海面上昇と動物分布の謎

柴 正博

A5版 幻冬舎メディアコンサルティング発行、発売元 幻冬舎
2025年1月10日発行 A5判 241ページ 幻冬舎 定価1,760円（税込）
2025年2月28日配信 電子書籍（図がカラー） 定価1,672円（税込）



地球の歴史を過去に遡っていくと、海に沈んだ大陸が最近の海底の地質調査でたくさん発見されています。また、生物の遺伝子情報にもとづいた分子系統学により、生物の祖先の系統関係が明らかになってきました。

世界の大陸や島々には、固有生物が分布して、この謎については、大陸移動による分断説や海洋分散説により説明されています。しかし、遺伝子解析により生物の系統分岐の順序と年代が推定されるようになり、それらの説で説明できないことが明らかになってきました。私の調べている深海掘削や海底の地質調査の結果から、かつての海面は今よりも相当低い位置にあったという証拠が多くあり、また地層が形成されるには大規模な隆起と海面上昇があったこ

とが考えられます。それらのことから、陸生動物が陸橋を渡って分布を広げた可能性があり、それらの陸橋が沈んだことにより陸生動物の系統が分岐したと推論できます。

私は、生物のこの分布の謎を、大陸移動や海を漂流したという考えではなく、地球が膨張して海底も隆起し海面が上昇したという考えで、生物の分布から過去に沈んだ大陸を探してみました。あなたも、この本を読んで、海に沈んだ大陸を私といっしょに探してみませんか。

目次

- 第1章 伝説の大陸と最終氷期の大陸
伝説の沈んだ大陸／最終氷期の海面変動と沈んだ大陸
- 第2章 日本列島周辺の沈んだ大陸
日本列島の哺乳類相の起源／伊豆諸島の沈んだ大陸／琉球諸島の沈んだ大陸
- 第3章 四三万年前に沈んだ大陸
フラセア区の沈んだ大陸／地中海の沈んだ大陸／四三万年前に沈んだその他の大陸／陸橋による動物の移動
- 第4章 深海に沈んだ大陸
海底の地形と地質を調べる／大西洋の沈んだ大陸／インド洋の沈んだ大陸／太平洋の沈んだ大陸
- 第5章 ジュラ紀以降の海面の位置と海面上昇
深海掘削から推定されるジュラ紀以降の海面の位置／地層のでき方と海面上昇
- 第6章 陸生動物の分布と沈んだ大陸
生物の進化と生物地理学／陸生動物の分子系統から見た沈んだ大陸